

輝け！シン尾花沢中

第 5 3 号

令和 7 年

6 月 27 日

たたえるほほの あかるさよ ああ光よぶ 学びやに

タイトルデザイン
教育指導室
伊藤瑞稀さん

本気にならなければ、自分の役割を知ることはいできない



昨日、期末テストがありました。

左の写真は、期末テスト 2 日前、昼休み時間の職員室前廊下の様子です。2 年生が担当の先生に質問にきています。私も、放課後に質問に来た 3 年生や 2 年生に、ワンスペ（One For All 学習スペース）や校長室で学習支援を行いました。目標に向かって本気で取り組む中学生に関わることができて「私はなんと幸せなのだろう」と、うれしく思ったところです。

本校の校訓の一つ「学習」に係る目指す生徒像は「夢中になって学ぶ生徒」です。夢中になるには、まず本気で取り組まなければなりません。

「人間は、誰しものが社会に対する役割をもってこの世に生を受けている」と私は思っています。「自分の役割を探すために、本気で学習しなければならない」とも思っています。

本気で取り組んでこそ、自分の役割が見えてきます。「どうせ、自分は～が苦手だ」という生徒がいます。そういった生徒に私は問いたい。「本気で取り組んでいますか？」と。

「自分の役割」探しはこれからも続きます。よって、学習も続きます。

テストが終わったから、次のテストまで学習せずともよいものではありません。さらに言うと、入試が終わると学習しなくなるというのもおかしい話です。中学校を卒業したら、言われなくとも①課題設定➡②情報収集➡③整理・分析➡④まとめ・表現のサイクルで、自分自身の力で課題解決していかなければなりません。学習の歩をゆるめてはならないのです。



人生初めての定期テストを受ける 1 年生、頑張りました！

孔子の教えに「知好楽」というものがあります。これは「知っているだけの人は好きである人には及ばない。好きである人は楽しむ人には及ばない」という意味です。

今回の期末テストに向けて本気で取り組んだ人は、きっと「好き」な領域、「楽しい」領域が見えてきたのではないのでしょうか。今回、本気になれなかった人も大丈夫です。今から本気になればいいのです。今からでも遅くはありません。さあ、教科書と自主学習ノートを開きましょう。学習を「好き」になるために。「楽しい」と思えるようにするために。 【文責：校長 工藤雅史】